

人材育成支援無償「人材育成奨学計画」
E/N署名式 大使挨拶(案)
(6月25日(月)13:00～ 於:大蔵省)

フレルバータル大蔵大臣閣下、ご列席の皆様

ただ今、フレルバータル大蔵大臣との間で、日本政府無償資金協力「人材育成奨学計画」にかかる交換公文に署名ができましたことを大変嬉しく思います。

ご承知の通り、日本は民主化以来モンゴルに対し、様々な分野で積極的に支援を実施してまいりましたが、その中で「教育・人材育成」は常に重点分野として位置づけてまいりました。

これまでウランバートルを中心に50を超える初中等学校を建設していることは御存じかと思いますが、現在は環境配慮・防災対策・障害児への対応など国際基準を満たす教育モデル校を新たに4校建設しております。

人材育成の面からは政府奨学金の支給をはじめとして多くの形で日本への留学生を受け入れ、現在2000人以上のモンゴルの学生が日本で学んでいます。

そうした学生がモンゴルに帰国後、政府・民間様々な分野で活躍している姿を見ることは嬉しい限りであり、また、こうした優秀な方々が日本とモンゴルとの関係発展のために大事な役割を果たしていることを有り難く思っています。

最近では工学系高等教育支援事業として、「1000人のエンジニア育成プロジェクト」が始まり、日本での留学を通じて工業分野の高い知識・技能を持ったモンゴルの産業人材の育成を図っております。

本日、署名いたしましたJDS事業はこの18年の間に、ちょうど300人のモンゴルの若手国家公務員に対し、日本の大学院で学ぶ機会を与え、モンゴル行政機関のテクノクラートの育成に貢献してきました。

今日の署名により新たに22名の若手行政官が日本で学ぶこととなりますが、このような若手人材が日本での学業を修め帰国した後、その能力を活かしモンゴルの発展のために活躍することを期待して、挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

(了)